

## 摂食外来

### 1) はじめに

食べることは、生きていく上でとても重要な事です。特に小児期の段階では、食べる機能を獲得していく重要な時期であります。その中で何らかの障害によって、食べることが上手に出来ない子ども達があります。その他、脳性麻痺や重症心身障害者といわれる方々にも、安全に食べることが出来ない人がいらっしゃいます。そのような食べることに困っている方々を対象に、1回/週の割合で専門外来を行っております。

### 2) 摂食嚥下障害治療の意義

- A) 誤嚥・窒息の予防、防止、軽減
- B) 食べる能力と食環境のアンバランスの改善
- C) 発達支援

### 3) 対象者

- A) 重症心身障害児（者）
- B) 発達に問題のある児で、食べる機能に何らかの問題のある児
- C) その他、当科外来で専門外来での治療が必要と認められた児（者）

### 4) 担当スタッフ

医師、看護師（外来、病棟スタッフ）

その他、必要に応じて機能訓練スタッフが関わります

### 5) 当センターにおける摂食外来の目標

- A) より安全に食事をとる
- B) 栄養のバランスを考える
- C) 楽しく食事をとる

結果として、生活の質の向上を図る

#### 6) 摂食外来の流れ

1. 外来の中で、実際に食事を食べて頂き、食べる機能の初診時評価を行う
2. 評価に基づき、問題点を明確にし、摂食訓練を指導する
3. 定期的に指導していきながら、誤嚥など主に嚥下機能が気になる方々にはビデオ透視嚥下造影検査を行い、治療方針の参考とする

#### 7) 治療方針

- A) 経口摂取は、楽に楽しく摂取出来るようにする
- B) 短期目標と長期目標を立て、目標に対する治療（訓練）を考え、施行する
- C) 定期的な評価をおこなう
- D) 誤嚥のリスク高い、あるいは誤嚥をしている症例では、客観的な評価に基づいた生活の中で食べることの位置づけをする
- E) あきらめない

#### 8) 最後に

当センターの外来では、患児（者）を中心とした治療を心がけております。また、摂食嚥下障害に対する理解を深めていくために、患児（者）とその家族が楽しめる様々な企画を計画しています。食事の食べ方が気になる方、むせが多く経口摂取に不安のある方など、まずは、お気軽に小児科外来を受診してください。